

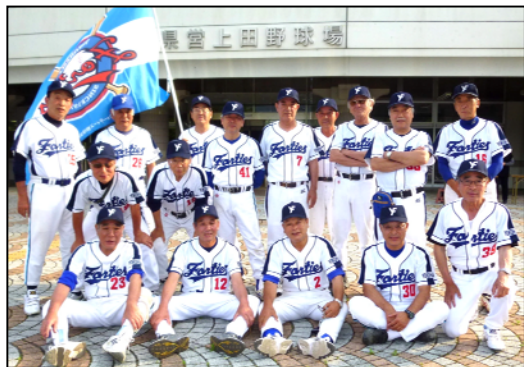
# フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部  
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

## 特集

第23回全日本生涯野球大会 平成23年6月4日～5日 上田市・千曲市・長野市



## ●おとうさんの甲子園 上田市・千曲市・長野市で2日間で3試合

還暦を過ぎた老兵集団、勝手に決めた小林一監督以下総勢16名、『今年こそは優勝旗を横浜へ』を合言葉に6月4日早朝フォーティーズ専属運転手唐澤氏のバスに乗っていつものコース新緑映える信濃路を行く。震災のため取り止めたチームが多く大会前日に組合せ変更が届き、試合時間の変更で時間に余裕が出来る。恒例飯島商店土産買出し後昨年と同じ千曲橋緑地グラウンドに早々到着。ゆったりと横川で仕入れた弁当を頬張り腹ごしらえもしっかりと緒戦に臨む。石川県の白山還暦野球クラブと対戦。シーソーゲームを展開し、接戦を逆転勝ちで制するも大黒柱有馬が古傷を痛めて戦線離脱で暗雲が漂う。開会式を行う上田球場へ移動。東日本大震災で出場チームが開催日間際まで定まらず本部も苦労。例年より減少とはいえ170余チームが球場の芝生を色取り取りのユニホームで埋める。外野から隊列を作って入場行進。本部席前を通りバックネット裏スタンドからフィールド内で繰り広げられる式辞を見下ろす筈がそのまま場外へ。記念にカメラでハイポーズ。式を欠場し早いけれどホテルへ直行。(これも天罰やはり式には出なければ)風呂につかって宴会。今日の熱戦つまみに野球談義。明日は早いぞ。長野オリンピックスタジアムで試合が出来る。全力で勝ちに行こう。

## A3リーグ

【1日目】6月4日 土曜日

第1試合 13:45～ 千曲橋緑地グラウンドC

白山還暦野球クラブ × 横濱フォーティーズ\*野球倶楽部

【2日目】6月5日 日曜日

第2試合 08:00～ オリビックススタジアム

横濱フォーティーズ\*野球倶楽部 × 全大津レッドソックス野球団A

第3試合 10:45～ 千曲橋緑地グラウンドB

新潟エーゼリス野球クラブ × 横濱フォーティーズ\*野球倶楽部



## ⑤第1試合【1回戦】

6/4(土) 13:45 千曲橋緑地グラウンドC

## 稲田同点、福島逆転の長短適時打を放って初戦を突破 鈴木謙 要所を抑えて長野で初勝利

	(0)	(2)	(3)	(1)	(3)		計	安打
横濱フォーティーズ*	0	1	2	1	2		6	(9)
白山還暦野球C	1	3	1	0	0		5	(3)
	(石川)	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)		

勝 鈴木謙

敗 相川

V打点: 福島

三塁打: 有馬(横濱)

二塁打: 稲田(横濱)



白山	打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点
5	村田	2		1
8	藤本	2	1	1
7	舟本	1		1
1	笹田	2		1
6	井山	1		1
4	西本	2		
9	寺田	2		
2	辻	2		
3	相川	2	1	1
D	菅波	1	1	1
D	北田	2		
D	坂下	1		
D	山崎			
代	般本	1		
チーム計		21	3	4

※守備位置はスタート時

投手	回	安	四	三	失
氏名	数	打	球	振	点
笹田	3	5	1	6	3
相川	2	4	0	2	3
チーム計	5	9	1	8	6

横濱	打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点
7	岡崎	2		
D	丸山	1		
8	佐藤	2		
3	安藤	2	2	1
1	塚田	2		
P	渡利	2		
2	鈴木謙			
5	大西	2	2	1
9	小松	1		
代	小林孝	1		
4	石井	2	1	1
6	稲田	2	1	1
D	福島	2	1	1
D	有馬	1	1	
D	秋葉	1	1	1
代	小林一	1		
チーム計		24	9	5

投手	回	安	四	三	失
氏名	数	打	球	振	点
塚田	3	3	2	2	5
鈴木謙	2	0	3	1	0
チーム計	5	3	5	3	5

初回白山先頭村田がエラーで出塁、1死後舟本四球、それぞれ盗塁での二・三塁に笹田の内野ゴロで先制。横濱は2回安藤中前打、牽制悪送球と暴投の三塁に大西左前適時打で同点。その裏白山2つのエラーでの1死一・三塁に相川と菅波の連続適時打と捕逸で3点加える。追う横濱は3回石井左前打、盗塁悪送球で一気に本塁へ生還。2死後有馬が右中間を破り全速力で三塁へ進むも足を負傷、秋葉の中前適時打に足を引き摺って2点目を加える。その裏白山山崎四球と捕逸の二塁に藤本左前適時打で1点加算。粘る横濱は4回四球の丸山を二塁に置いて安藤の左前適時打で追い上げる。5回大西中前打、2死後稲田左中間を破り一塁から大西激走、一気に同点の本塁を駆け抜ける。尚二塁に福島右翼線に執念の逆転適時打。白山最後の攻撃を鈴木謙が2つの死球を与えるも代打船本を見事空振三振に仕留め辛くも初戦勝ち上がる。

## 第2試合【2回戦】

6/5(日) 08:00 オリニックススタジアム

## 初的人工芝

大西・石井の右越二塁打で先制も  
3つのフライボールで勝を返上

(滋賀)	(0)	(2)	(0)	(1)	(4)	(1)	計	安打
全大津レッドソックス	0	0	0	0	7	0	7	(8)
横濱フォーティース	0	1	0	0	2	0	3	(6)
	(0)	(2)	(0)	(1)	(2)	(1)		

勝 林田

敗 鈴木謙

V打点: 吉田

二塁打: 大西・石井(横濱)

## ●遠征参加メンバー●

監督	小林	一三六	(浜友)
主将	有馬	一興	(浜友)
	福島	武男	(浜翔)
	塚田	惣治郎	(浜翔)
	岡崎	四郎	(浜翔)
	大西	直良	(浜友)
	秋葉	雅司	(湘南)
	小林	孝雄	(湘南)
	渡利	阡蔵	(浜翔)
	佐藤	隆	(湘南)
	稲田	正夫	(港南)
	石井	公明	(浜風)
	鈴木	謙一	(港)
	小松	優	(湘南)
	安藤	修一	(港)
	丸山	正蔵	(浜友)
	以上16名		

横濱	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
2 岡崎	2			
9 丸山	1			
代 小林一	1	1		
8 佐藤	2			
3 安藤	2			
5 大西	2	2	1	1
1 塚田	2		1	
4 石井	2	1	1	
6 稲田	2			
D 福島	2			
7 小松	1			
1 鈴木謙	1	1		
D 渡利	1			
D 小林孝	1	1		1
D 秋葉	1			
チーム計	23	6	3	2

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点
氏名					
塚田	3	2	1	1	0
鈴木謙	1	2	1	0	5
佐藤	2	4	0	0	2
チーム計	6	8	2	1	7

投手	回数	安打	四球	三振	失点
氏名					
美濃部	3	2	0	5	1
林田	2 2/3	4	0	0	2
チーム計	5 2/3	6	0	5	3



人工芝の総合グラウンド長野オリニックススタジアムで試合が出来る。有馬離脱でオーダーが狂うも全員張り切って試合に臨む。2回我軍大西右越二塁打、暴投の2死三塁に石井右越適時二塁打で幸先良く先制。昨日に続いて先発塚田が走者を出すも要所を抑えて3回まで完封。2番手鈴木謙4回原田に右前打されるも0点に抑えて魔の5回となる。先頭中村投飛をまさかの落球。続く林田死球と捕逸での二・三塁に美濃部の右飛落球で同点。更に岩橋も右飛で併殺のはずが落球で無死満塁。吉田、浅田に連続適時打、1死後長井適時打、更にエラー、捕逸等織り交ぜただ啞然打者12人で7点を奪われる。その裏小林一初人工芝で内野安打、佐藤敵失、1死後大西適時打と塚田内野ゴロで2点を挙げるとも制限時間で無念の敗退。



## 第3試合【3回戦】

6/5(日) 10:45 千曲橋緑地グラウンドB

打てず守れずでは勝てません  
内外野手が投手の足を引張る

(2)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(2)	計	安打
横濱フォーティース	0	0	0	0	0	0	0	(6)
新潟エージレス	3	0	3	0	3	5	X	14 (13)
(新潟)	(4)	(0)	(3)	(0)	(2)	(4)		

勝 五十嵐 H 矢部 敗 佐藤

V打点: 矢部

本塁打: 権平・五十嵐(新潟)

三塁打: 五十嵐・川崎(新潟)

二塁打: 松田(新潟)・大西(横濱)

新潟	打数	安打	打点	盗塁
守 氏名				
8 斉藤	3	1		1
D 中野	3	2		3
5 矢部	3	3	3	2
9 権平	3	1	2	
3 川崎	3	1		
7 伊藤	3	1	1	1
6 石崎	3			1
D 松田	3	1	2	
4 丸山	1			1
2 宮島	2	1		
1 五十嵐	2	2	3	
D 木村	2			
D 吉津	2			
チーム計	33	13	11	9

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	三振	四球	失点
氏名					
五十嵐	3	2	0	1	0
矢部	3	2	0	1	0
石崎	1	2	1	1	0
チーム計	7	6	1	3	0

投手	回数	安打	三振	四球	失点
氏名					
佐藤	3	7	1	2	6
安藤	3	6	1	1	8
チーム計	6	13	2	3	14

1・2回戦共に大勝して勝ち上がってきた新潟エージレスに差が歴然。新潟初回斉藤60歳三ゴロをあっという間に一塁駆け抜け内野安打、続く中野中飛落球、矢部右前適時打で先制。続く権平右前打、野手大きく逸らし追いかけるも記録はランニングホームランで投手の足を引っ張る。3回も五十嵐左中間を抜ける三塁打等外野手が右に左に揺さ振られ3点献上。4回から代った安藤スローボールで三者凡退も5回以降打ち取ったはずの打球、転がるボールを追う野手が目立つ。攻撃も5回まで二塁を踏めず。終回鈴木謙四球、小林孝、渡利の連打で始めて満塁も最後は秋葉が打ち上げて完封負けと惨敗。遠征3試合で敢闘者は大西6打数5安打、小林孝4打数3安打と健闘する。

